

地域とともに 新たな展開を目指して

— 駒ヶ根青年海外協力隊訓練所25周年記念誌 —

JICA LIBRARY



1178551(6)

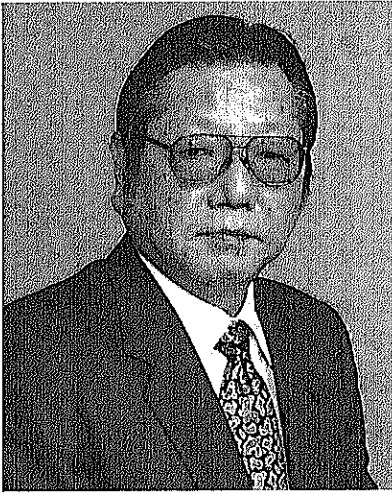
駒青訓

J R

独立行政法人 国際協力機構
駒ヶ根青年海外協力隊訓練所



発刊にあたって



独立行政法人 国際協力機構
駒ヶ根青年海外協力隊訓練所
所 長
小 宮 英 夫

駒ヶ根市の中心街から南西に約5km、その前方に南アルプス連峰を望み、平野部に流れる天竜川からなだらかな稜線で結ばれる中央アルプス山麓の標高約800mの地に、駒ヶ根青年海外協力隊訓練所が開設されて25年を迎えることができました。

東京での1カ月の導入訓練に続き、2カ月に亘る語学の集中訓練を行う場として当訓練所が開設されたのは1979年（昭和54年）のことです。当初は100名を収容する個室制でしたが、隊員派遣人数の増加に伴い、1987年（昭和62年）に改築して2人一室制の190名体制となりました。更に、2000年（平成12年）までには宿泊棟、研修棟を増改築して240名個室体制に変更して現在に至っています。

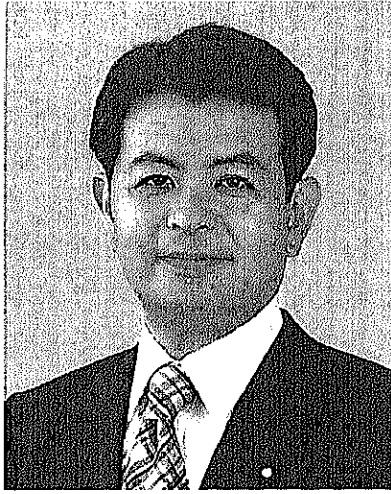
地方に設置される初めての協力隊訓練所として、開設当初から地域との交流を積極的に図る試みが訓練プログラムに導入されました。所外活動、体験入隊、協力隊週間等の行事を通して協力隊事業、国際協力や国際交流に対する市民の方々の理解促進に、少しでもお役に立ちたいとの思いからでした。その結果、1983年（昭和58年）5月に、市としては全国に先駆けて「駒ヶ根協力隊を育てる会」の発足に至りました。訓練所の存在を通して、隊員候補生の期間、隊員として派遣された後もその活動に対して、そして帰国後も市民と行政が一体となった形で支援していただいておりますことには誠に有難く、また心強い限りです。

このご支援を心の糧として、駒ヶ根青年海外協力隊訓練所は、国際協力を伊南の文化に定着させ、やがては長野県、そして日本の文化にするために、今後とも一層の努力をして参りたいと存じます。引き続きよろしくご支援を賜りますようお願い申し上げます。

本誌は、25周年を契機に当訓練所の歩みを振り返り、資料を整理して記録として残し、新たな発展の第一歩を踏み出す決意を込めて纏めました。皆さまの国際理解や地域の国際化推進に、何等かの参考としていただければ望外の喜びであります。

平成17年3月

祝 辞



衆議院議員
宮 下 一 郎

青年海外協力隊事業が39年目を迎えるなかで、駒ヶ根青年海外協力隊訓練所が25周年を迎えられましたこと心よりお慶び申し上げます。

全国で3ヶ所しかない訓練所の中で駒ヶ根訓練所は昭和54年5月に開設され、以来、開発途上地域の方々と一体となって、経済及び社会の発展に協力しようという熱い気持ちを持った青年の育成を行い、これまでも多くの地域に隊員を派遣されてきました。さらに、この度の新潟県中越地震においても隊員の方々が被災地ボランティアに参加され、様々な活動を通じて被災者の皆様方に大変な貢献をされて参りました。

また当訓練所を巣立たれた隊員OB・OGの方々も、世界中で活躍された後、再び駒ヶ根を訪れ、折にふれ各国の状況や活動内容についてお伝え頂いており、これにより地域の皆様方の国際貢献に対する意識が高まるなど、大きな成果をあげておられます。

長年にわたりこうしたすばらしい活動を続けてこられた訓練所の皆様と隊員の皆様方のご努力に対し、心から敬意と感謝を申し上げます。

開設25周年を契機に関係各位におかれましては心を新たに、青年たちの活動を支援する為、より一層のご活躍をお願い申し上げますとともに、日本の国際貢献の基盤である青年海外協力隊事業の根幹を担う駒ヶ根青年海外協力隊訓練所の益々のご発展をご祈念申し上げ、お祝いのご挨拶とさせていただきます。



祝 辞



信州・長野県知事
田中 康夫

日本列島の背骨に位置し、^{あまた}数多の水源を擁する美しき信州において、駒ヶ根青年海外協力隊訓練所が開設25周年という記念すべき節目の年を迎えられましたことを、心からお祝い申し上げます。

1人ひとりの相貌^{かお}が見え、体温を感じることでできる“ふるさと”でありたいと願う信州で、79日間にわたる訓練の日々を過ごされ、その後社会で活躍されている皆さまは、旺盛なチャレンジ精神に加え、現地で磨かれた語学力、厳しい環境への適応能力を有することはもちろんのこと、生まれ育った日本とはまったく異なる文化、環境に、いわばたった1人で飛び込むという体験を通じて、人々の心の^{ひだ}襞を感じ取ることができる、人材の宝庫であると考えています。

まさに“鑄型社会”と呼びうる現代ニッポンでの見せ掛けの豊かさを捨て、海外において真に人々の目線に立ったキャリアを積み重ねようとする青年の皆様にとって、信州の訓練所での体験は、息苦しい鑄型の中から自由に抜け出すだけの勇気を持つためには欠くことのできない、大切な冒険の第一歩であるものと思います。

その冒険を通じて、人が人を支え、人が人に支えられることの悦びを感じながら、よい意味でワイルドに、そしてしなやかに成長されていく青年たちは、1人ひとりが愛するふるさとを心に抱くことの強さと、人々の人間性の回復こそが、病める現代社会にとっての最良の治療法であることを、大人たちに教えてくれるはずです。

私たちの営みは、今を生きる私たちだけでなく、未来に暮らすであろう、未だ見ぬ人々のためにこそ、努力すべきものであるのですから。

駒ヶ根青年海外協力隊訓練所 開設25周年に寄せて



駒ヶ根協力隊を育てる会 会長
駒ヶ根市長
中原正純

開設25周年、誠におめでとうございます。当会及び駒ヶ根市民を代表して心よりお祝い申し上げます。困難な国際情勢の中にあつて皆様のご尽力されるお姿に深く感銘を覚え、貴訓練所が当地に所在していることを誇りに感じておりますだけに、開設25周年を迎えることは、私どもにとりまして大きな喜びであります。

私ども駒ヶ根協力隊を育てる会は、貴訓練所開設から4年後の昭和58年、国際協力という崇高な活動に少しでも関わりたいという思いから地域住民が中心となって設立し、微力ながら応援に努めてまいりました。

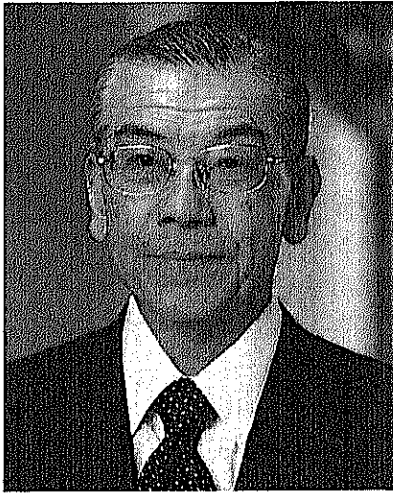
この間、貴訓練所からは、地域住民の国際理解、国際協力の心の涵養に対し、ひとかたならぬご尽力を頂いて参りました。当地域住民の国際協力、国際交流に対する意識は、青年海外協力隊との関わりを通じて深められ、浸透してきたと言ってよいでしょう。

候補生の皆さんは福祉施設、農家などでの奉仕活動に励まれ、そこに住民との交流が生まれました。多くの住民が国際理解や開発援助の重要性に気づかせていただきました。また、小中学生は体験入隊をさせていただき、国際協力、ボランティア精神の種を蒔いていただいております。

この四半世紀、大変な努力を払いながら、駒ヶ根青年海外協力隊訓練所は国際社会におけるその任務を果たされてきました。私どもも、時に協力者として一緒に歩ませていただきました。そしてこれからもそうでありたいと願っております。

はるかな道のりかもしれませんが、いつか国際支援の必要がなくなる、そんな世界の実現を目指して、貴訓練所が、ますますご発展されますことをご祈念申し上げ、お祝いの結びとさせていただきます。

訓練所開設25周年を祝して



長野県青年海外協力隊を育てる会 会長
(社団法人長野県経営者協会 会長)

安川 英 昭

駒ヶ根青年海外協力隊訓練所が、開設25周年の記念すべき節目を迎えられますことを心よりお祝い申し上げますとともに、これまで幾多の候補生を訓練し、任国に送り出してこられた講師、職員、関係者の方々に改めて感謝と敬意を表します。国内3ヶ所の訓練所の1つが長野県にあり、毎年全国から意欲に溢れた前途有望な青年が集まり、志を分かち合う場となっておりますことは、本県の財産として大いに誇りとするものであります。

グローバルに展開する企業活動にあって、新興・発展途上の国々に比べ、日本の若者のやる気や目の輝きが随分違うと痛感しています。先人が苦勞し築き上げてきたわが国の高い技術力や競争力は世界に誇りうるものがありますが、豊かさに慣れてしまったからとも考えられます。日本の経済や産業の将来を展望する中では憂慮すべき現象とも思えてなりません。そうした中、自ら困難に立ち向かい、また国際貢献の明確な目的を持って赴任地に向かう隊員の姿は大変心強く思います。文化や習慣の違いを理解し越えながら隊員が身につけてきた世界観・感性などは帰国後、わが国を活性化させる原動力ともなるものと確信しています。

長野県青年海外協力隊を育てる会も、昭和61年の設立から支援活動に取り組んできましたが、赴任前(現職参加)、赴任中(物的支援)、帰国後(就職支援)などあらゆる場面での協力に一層努めていきたいと考えています。年々、協力隊への参加希望者が増加していると聞き、大変うれしく思います。そうした意欲ある青年を鍛え、磨く場として駒ヶ根訓練所がさらにその役割を果たされることを祈念し、お祝いの言葉とさせていただきます。

目 次

挨拶

「発刊にあたって」……………訓練所所長 小宮英夫 …… 1

祝 辞

「祝辞」……………衆議院議員 宮下一郎 氏 …… 2

「祝辞」……………長野県知事 田中康夫 氏 …… 3

「駒ヶ根青年海外協力隊訓練所 開設25周年に寄せて」

駒ヶ根協力隊を育てる会 会長・駒ヶ根市長 中原正純 氏 …… 4

「訓練所開設25周年を祝して」……………長野県青年海外協力隊を育てる会 会長 安川英昭 氏 …… 5

駒ヶ根訓練所25年の歩み…………… 9

訓練所の動向と地域連携の歴史…………… 20

訓練所開設25周年によせて

歴代所長からのメッセージ

「駒ヶ根での生活を偲んで」……………初代所長 大畑英雄 氏 …… 23

「協力隊出発時に感じる希望」……………2代目所長 粕谷甲一 氏 …… 23

「開設25周年によせて」……………3代目所長 高橋成雄 氏 …… 24

「駒ヶ根青年海外協力隊訓練所開設25周年記念に寄せて」……………4代目所長 小野陸一 氏 …… 24

「駒ヶ根訓練所に期待すること」……………5代目所長 渡部正剛 氏 …… 25

「市民の皆様と共に」……………6代目所長 坂牧嘉昭 氏 …… 25

「青年海外協力隊駒ヶ根訓練所開設25周年に向けて」……………7代目所長 長倉 孝 氏 …… 26

「駒ヶ根青年海外協力隊訓練所開設25周年によせて」……………8代目所長 金山昌功 氏 …… 27

「駒訓25周年に想う」……………9代目所長 阿部憲子 氏 …… 27

「駒ヶ根訓練所開設25周年に寄せて」……………10代目所長 木内志郎 氏 …… 28

「遠国より懐かしむ」……………11代目所長 稲葉 泰 氏 …… 28

「KTC候補生に思うこと」……………12代目所長 平澤昭男 氏 …… 29

訓練関係者の思い出

「時に想う」……………講座講師代表 青山敏彦 氏 …… 31

「駒ヶ根青年海外協力隊訓練所 25周年にあたり」

語学講師代表 Lobsang Tenzing Sherpa (ロブサン・シェルパ) 氏 …… 32

「回想」……………訓練スタッフ代表 氣賀沢みはる …… 33

「明日を開く若人達へ」……………所外活動受入先農家 山本博和 氏 …… 34

「駒ヶ根青年海外協力隊訓練所 25周年記念に寄せて」

特別養護老人ホーム 観成園 園長 福島紀六 氏 …… 35

「駒ヶ根青年海外協力隊25周年記念に寄せて」……………青年海外協力隊OB代表 上田誠一 氏 …… 36

「協力隊のあるまち駒ヶ根に生まれて」……………青年海外協力隊OG代表 北原照美 氏 …… 37

「訓練所開設“25周年記念”に寄せて」……………訓練所顧問医 塩原順四郎 氏 …… 38

「訓練所と共に」……………青年海外協力隊長野県OB会 会長 横尾和人 氏 …… 39

座談会「駒ヶ根青年海外協力隊訓練所 回顧を発展に向けて」	40
中原正純（駒ヶ根市長）	高坂 保（元訓練カウンセラー）
窪田雅則（NPO法人トカルパのひかり会長）	ムシン・アザド（語学講師）
北原岳志（駒ヶ根青年会議所OB）	小宮英夫（訓練所所長）＜司会進行＞

25周年記念事業紹介	54
駒ヶ根訓練所開設25周年記念式典、講演会、祝賀会 / 中学生体験入隊	
25周年記念特別番組制作・放映 / ホームカミングデーinこまがね2004	
駒ヶ根市天竜ふるさとまつりでの花火打ち上げ / いなだに国際塾「地球市民講座」の開催	
ピース・トーク・マラソン 2003-2007 in 長野	
協力隊週間2004 in こまがね イベント「もう風は吹かない」演劇公演	
協力隊週間2004 in こまがね 国際広場	

KTC概説

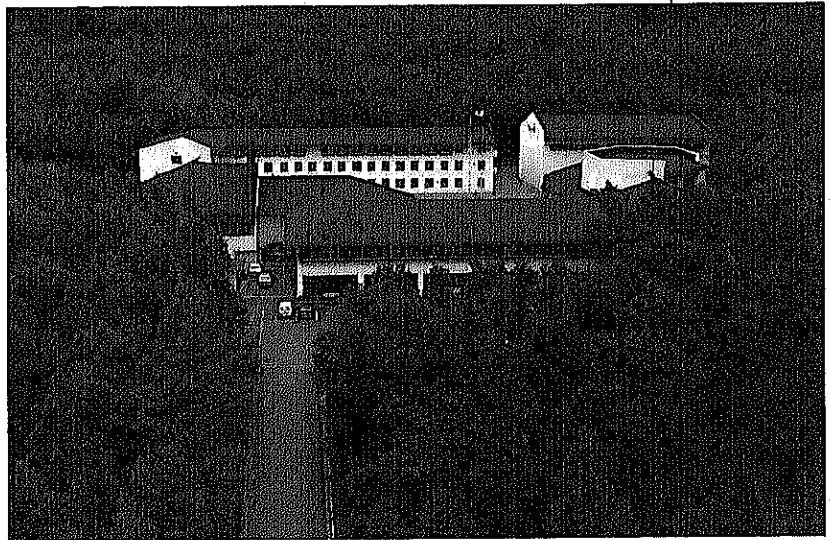
I. 訓練所統計資料一覧	
1. 駒ヶ根訓練所出身隊員数	58
2. 長野県出身ボランティア・派遣実績	
(1) 青年海外協力隊出身市町村別内訳	62
(2) 青年海外協力隊派遣国別内訳	63
(3) シニア海外ボランティア派遣内訳	64
(4) 日系社会青年ボランティア派遣内訳	65
(5) 日系社会シニア・ボランティア派遣内訳	65
3. 近年の年度別事業実績（JICA駒ヶ根の国内機関化以降）	66
II. 現職参加のための自治体条例制定状況	68
III. 訓練所の一年紹介（主なイベント・プログラム紹介）	69
IV. 訓練所歴代職員一覧	70
V. 訓練所歴代語学講師一覧	77
VI. 年表／訓練所の歴史	86

TOPICS

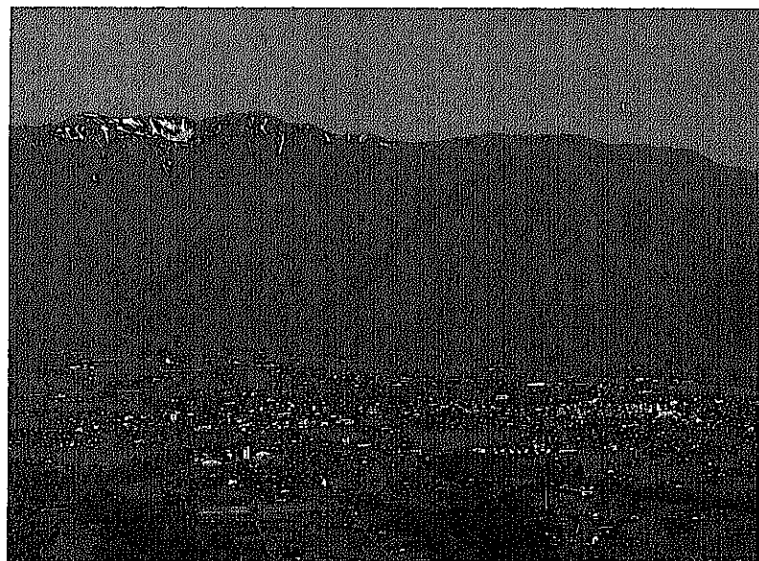
・ 訓練中に花咲く恋「駒ヶ根マジック」とは（元候補生H10-3 佐々木 学）	22
・ TBS佐藤総括の思い出話「早稲田の施設を借りて行った訓練奮闘記」	29
・ 駒ヶ根協力隊を育てる会とは…（駒ヶ根協力隊を育てる会事務局 春日隆志）	30
・ MWF協力隊週間紹介（協力隊週間実行委員会 春日隆志）	30
・ 食堂で働く皆さんより「こんなこともありました」（TBS食堂チーム）	33
・ 駒ヶ根訓練所NEWS紹介（JOCAスタッフ 柴山良春）	34
・ 平成16年10月 ISO14001を認証取得（JICA駒ヶ根 総務チーム 足達将士）	38
・ 隊員候補生の生活、今と昔（JOCA総括 堀田康雄）	56
・ 長くお世話になっている飲み屋さんインタビュー（「越百」店主 馬場隆志）	61
・ 民族衣装貸出紹介 駒ヶ根には珍しいカラフル衣装取扱店（JOCAスタッフ 樋渡優子）	65
・ 守衛業務に就いて思うこと（TBS守衛代表 池上千尋）	85
・ 中学生体験入隊参加者のお礼の手紙紹介（飯田市の参加中学生から）	89

駒ヶ根訓練所25年の歩み

訓練所全景
(開設当初)



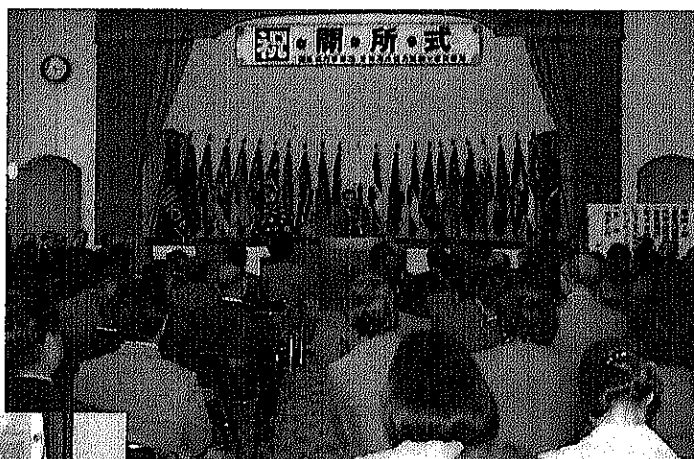
昭和54年の駒ヶ根訓練所



駒ヶ根市全景

今から25年前の昭和54年「自前の訓練所」で、それまでの訓練手法の蓄積を生かしながら充実した派遣前訓練を行いたい、という協力隊関係者の永年の強い希望がかない、雄大な自然に富んだここ駒ヶ根の地に、年4回、計400名の候補生の受入を可能とした近代的な訓練施設が完成しました。

5月24日 開所式



その年の5月24日、駒ヶ根訓練所最初の候補生、昭和54年度第1次隊93名の訓練が実施される中、現在の小講堂にて来賓100名を迎え、盛大な開所式が執り行われました。

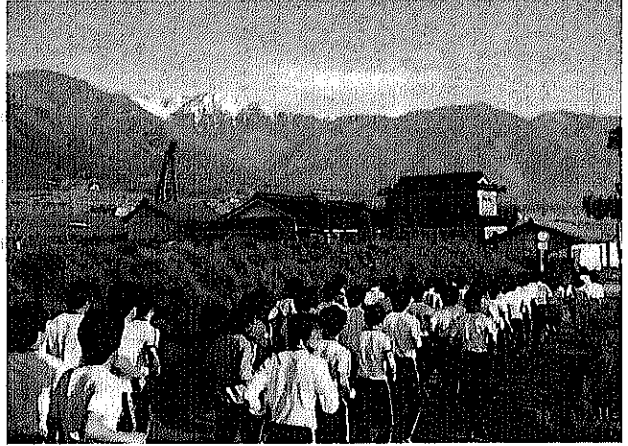
駒ヶ根訓練所25年の歩み

開設当時の訓練風景 ~part1~

当時はまず、東京・広尾で4週間にわたる広尾訓練が行われ、その後、静岡県の方広寺に参り参禅訓練を行った後、駒ヶ根訓練所に入所していました。

駒ヶ根訓練所では、開設当初より様々な派遣前訓練が行われています。

ジョギング



毎日朝6時半より行われる朝のつどい、続く朝食前のジョギング風景は、そろいのジャージ姿こそ違え、今も昔も変わらない風景です。

朝の集い・体操風景



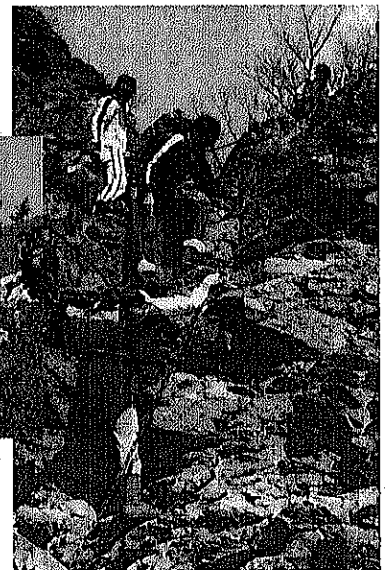
当時から続く朝の集い いつの青年にとっても早起きはつらい...



スキー訓練

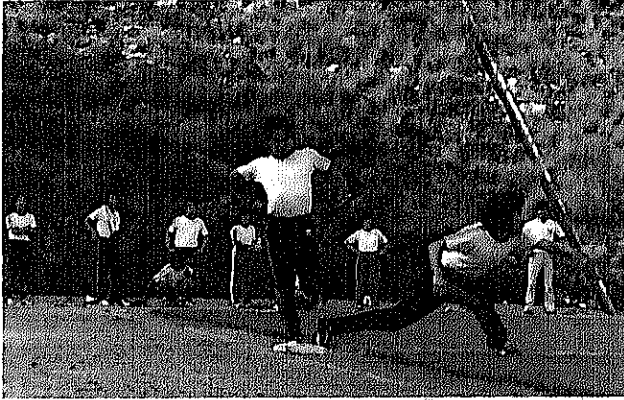
当時から続く野外訓練では、スキーや登山が訓練に取り込まれたころもありました。青年会議所の駒ヶ岳山頂美化活動「クリーン駒ヶ岳」作戦に駒ヶ根訓練所も全面協力し、山頂に着く頃には大きな麻袋いっぱいゴミを集めたこともあります。

登山訓練



駒ヶ根訓練所25年の歩み

開設当時の訓練風景 ~part2~



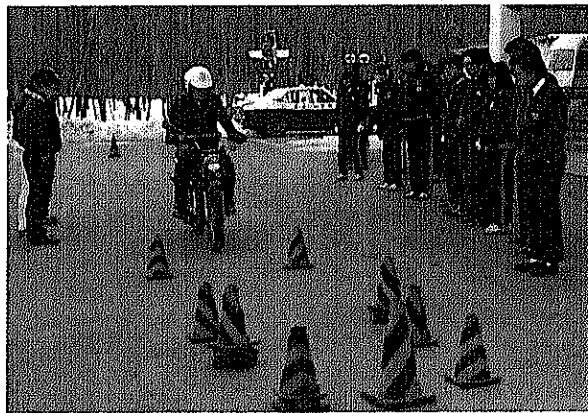
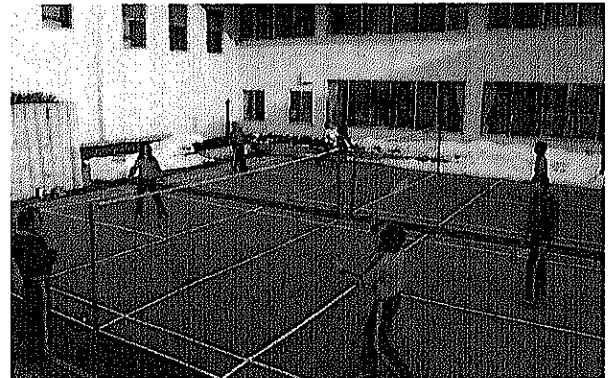
語学の学習から解放され、のびのびプレーする候補生達…

ソフトボール大会



訓練期間中は、初めて学ぶ語学づけの毎日です。訓練中に数回行われるスポーツ大会は気合い満点です。

バトミントン大会 (現在の中庭にて)



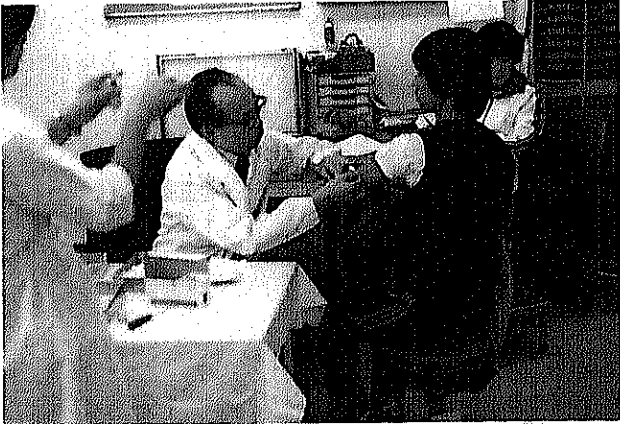
今も昔もこれからも、安全が第一です。

交通安全講座

任国での交通事故を防ごうと、バイクの運転技術の向上と安全管理意識を高めるための講義も当時から続いています。

駒ヶ根訓練所25年の歩み

開設当時の訓練風景 ~part3~



強い体になるために…

協力隊の赴任する国々には日本にはない多くの病気が存在します。現在、訓練期間に、赴任する地域によっては10本の注射をうたなければいけません。「これがどの課業よりもつらい」という候補生も少なくないとか・・・。

予防接種



今日もまた予防接種



貴重な体験を積み重ねて頂いています

- ・老人ホーム
- ・児童福祉施設
- ・身障者救護施設
- ・農家

所外活動

開設当初より、駒ヶ根訓練所・訓練の一つの特徴は、立地条件をいかした「所外活動」の試みでした。

訓練の一環として、地域社会の中での奉仕活動が組み込まれ、老人ホーム、児童福祉施設、身障者救護施設、地域の農家さんなどにご協力をいただき、慣れない社会での振る舞いと行動を考える機会を得ることができました。

所外活動先からは、「若人のほがらかな笑いの中で仕事はかどる」とも言っていただき、大切な地域社会との交流の時となっています。



駒ヶ根訓練所25年の歩み

地域との交流 ~part1~

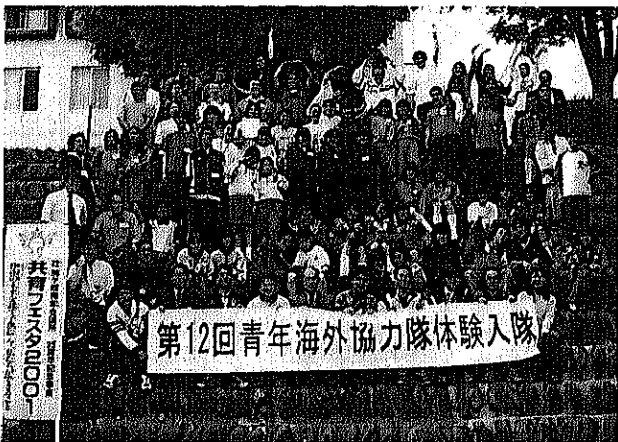


派手に着飾った候補生も国際広場を盛り上げます

昭和60年、第一回の駒ヶ根協力隊週間が始まりました。年々規模を拡大し、現在では、駒ヶ根市役所、駒ヶ根青年会議所等地元関係者のご協力の下、毎年10月、駅前の「駒ヶ根国際広場」と呼ばれる特設ステージを中心に国際色豊かなイベントが行われます。駒ヶ根市民や近隣町村の方々に、駒ヶ根訓練所の活動や国際協力の現場の空気をすこしでも知ってもらえる絶好のイベントとなっています。この時は隊員候補生だけでなく民族衣装に身をつつんだ隊員OBもこのイベントに参加し、直に市民の皆様と触れ合う機会となっています。

協力隊週間

現在、駒ヶ根訓練所では隊員候補生の訓練の場としてだけではなく、地域の皆様にひらかれた訓練所として活用していただけるよう、多くの取り組みが行われています。



中学生体験入学

毎年6月には地元青年会議所が企画・実施する伊南地域の中学生体験入隊が、7月には上伊那地区の初任者教員への研修会があります。

駒ヶ根訓練所25年の歩み

施設見学



毎年見学に訪れる地元老人大学の皆様。学びの場として訓練所が開放されています。

地域との交流 ~part2~

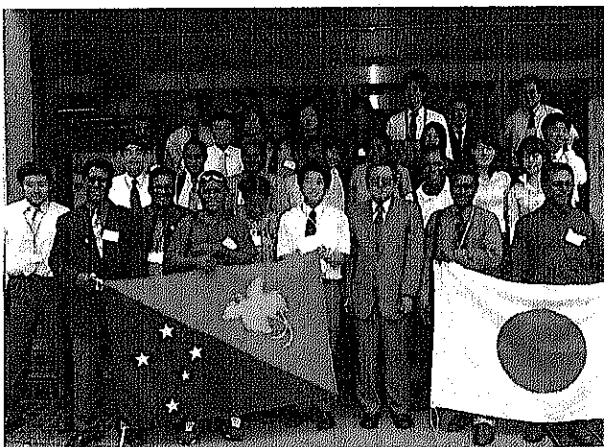
1日体験入隊



これから協力隊を目指す方のための『一日体験入隊』
これは、国際理解ゲームの風景（真剣！）

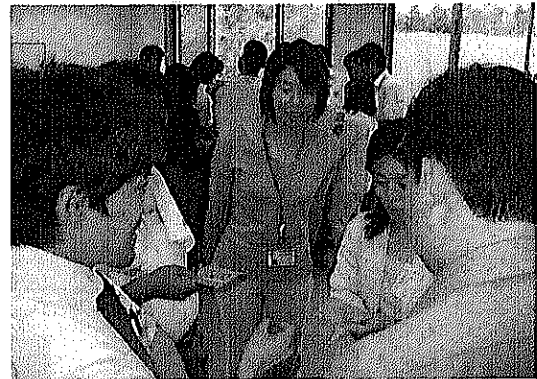


集まった参加者全員で、世界の料理作りに奮闘中の1コマ



途上国の将来を担う青年隊たちが日本を訪れます。
これは訓練所を訪れた際の記念写真。

10年研修



教師として10年目を迎えた教員の研修風景

これから協力隊をめざす方々へ開かれた一日体験入隊、帰国直後の長野県内隊員OBを対象とした帰国隊員セミナーの実施、また、隊員候補生が実際に受ける数々の講座を一般の方々にも公開し、国際協力についてのみならず広く学びの場として訓練所を開放しています。

国際理解セミナー

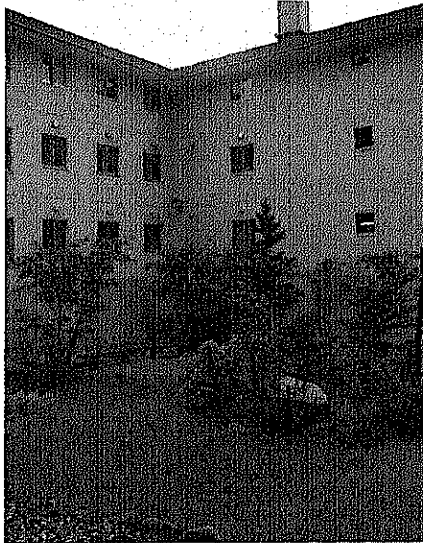


青年招へい事業

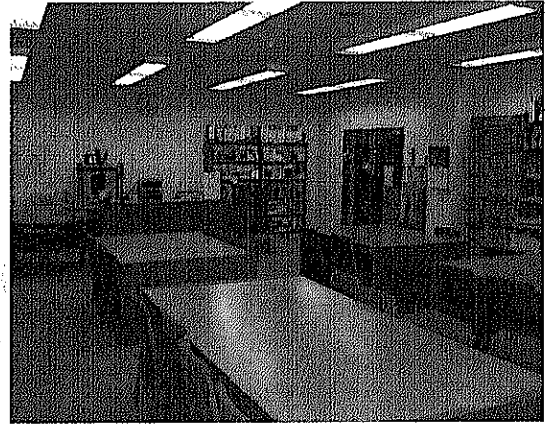
駒ヶ根訓練所25年の歩み

建物の移り変わり

平成12年
(新) 宿泊棟完成



図書資料室



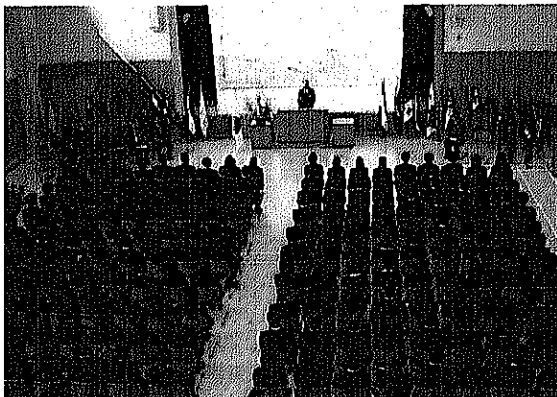
駒ヶ根訓練所は、協力隊員を求める任国での要請数増加に応えるよう、またより良い訓練の場の構築のため、徐々にその規模を拡大してきました。

開設当初、1人1室にて生活していた居室も、昭和57年度3次隊より候補生の増加にともない、2人で1部屋を使用するようになりました。



現在の居室・1人部屋

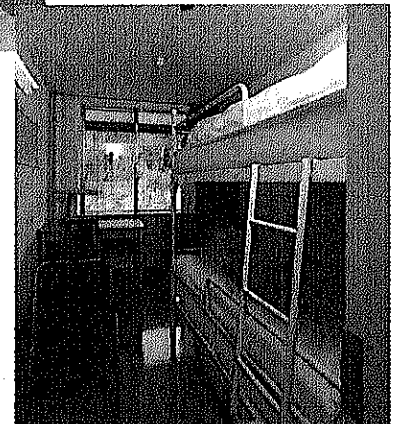
居室



平成11年
森のステージ完成

駒ヶ根訓練所25年の歩み

昭和57年度3次隊～
平成11年度3次隊ま
での居室・2人部屋



昭和63年4月、研修棟・食堂が増築され、大講堂・会議室・図書館・グラウンドが新たに整備されました。

平成11年3月、式典等が行われる森のステージが完成。平成12年3月、地上4階建ての宿泊棟「コリドー」が完成し、以来、1室を1人で利用できるようになり、1隊次240名の候補生が訓練を受けることが可能となりました。



訓練所のこれから

駒ヶ根青年海外協力隊訓練所では、今後も隊員候補生の訓練環境をより良い物へと整えつつ、より多くの方々に日本の行う国際協力について知っていただける発信基地となるよう



地域のみなさまのご協力を仰ぎつつ



ますます「開かれた訓練所」を目指し努力していきたいと考えています。

駒ヶ根訓練所25年の歩み

訓練所全景 (現在)



駒ヶ根訓練所25年の歩み